

研究成果展開事業 大学発新産業創出プログラム
プロジェクト推進型 SBIR フェーズ1 支援
2025 年度事後評価結果

グラント番号	JPMJST2559
研究開発課題名	テラヘルツ波を用いた塩素系廃プラスチックの事前識別・除去技術の研究開発
研究代表者	芝浦工業大学 デザイン工学部 田邊匡生
研究開発成果の概要	3 周波数の簡易レーダーデバイスを用いたテラヘルツ分光情報取得装置を設計・構築した。廃プラスチックに対して取得した分光データに機械学習を適用し、塩素レベルの非接触評価を実証した。さらに、廃棄物処理プラントに対する識別性能として、回収経路が明確で類似の廃プラスチックに対する高い識別精度を確認した。

総合評価

テラヘルツ波という注目分野において、ラボレベルでは着実な成果を上げており、技術移転先の企業も確保できている点は高く評価できる。一方で、現場での具体的な使い方、現場のワークフローや運用条件への対応については検証が不十分であり、今後の具体化に期待する。

以上